

「生コンセミナー in 高知」開催のご案内

— 逆境の中での前進 —

四国地区の本年度の生コン需要は平成3年のピーク1千万m³の1/3にまで減少しています。このため一部には規模縮小の動きも見られ、次代を担う若い人たちの参入も少なく、急速に高齢化が進み技術の承継等に支障を来すなど多くの問題を抱えています。

しかし、こうした逆境の中でもそれぞれの分野で地道に実験・研究に取り組み、生産性の向上に、技術の発展に、コンクリート構造物の耐久性向上に、あるいは地球環境保全等に貢献すべく努力されている方々にその成果の一端について発表いただき、発信力を高めていただきたいとの思いから、本セミナーを計画いたしました。

年度末のお忙しい時期とは存じますが、多くの皆さまのご参加をお待ちしております。

記

1. 主催 高知県生コンクリート工業組合
2. 共催 (公社)日本コンクリート工学会四国支部
3. 日時 平成31年3月19日(火) 13時00分～16時30分
4. 会場 サンピア・セリーズ 3階 「マリン」
高知市高須砂地155 TEL 088-866-7000 (無料駐車場400台)
<http://www.chres.jp/>
5. 定員 100名
6. 参加費 無料
7. 申込方法 参加申込書に所定事項を記入の上、下記申込先までFAXまたはeメールにてお申込みください。なお、締切日前に定員に達しているときはお断りすることがあります。また、受講券は発行しませんので併せてご了承ください。
8. 締切日 平成31年3月12日(火)
9. 申込及び
問合せ先 FAX 088-833-3242 e-mail ; ckataoka@zennama.or.jp TEL 088-833-3110

10. プログラム

司会 森澤勝弘 (高知工組)

12:20～ 受付

13:00～13:05 開会挨拶 北岡守男 (高知工組副理事長)

13:05～13:25 3岩種の骨材によるコンクリートの品質比較結果について
内田琢也 (ロソコン開発株)

13:25～13:45 銅スラグ細骨材を用いたコンクリートの性状確認
竹田真一 (芸東生コンクリート株)

13:45～14:05 フライアッシュが高炉セメントB種コンクリートのフレッシュおよび硬化特性に与える影響について
宮本一樹 (高知工組技術センター東部試験所)

14:05～14:25 生コン工場における生産性向上に関する一考察
福岡康弘 (讃和生コンクリート株)

14:25～14:45 アルカリシリカ反応性試験(モルタルバー法)における供試体の貯蔵方法の検討
竹田厚志 (愛媛工組中予技術センター)

14:45～15:05 フレッシュコンクリート中から採取した骨材を試料としたアルカリシリカ反応性試験方法(化学法)に関する検討
竹村賢 (愛媛工組南予技術センター)

15:05～15:20 講評 大内雅博 (高知工科大学)

15:20～15:35 (休憩)

15:35～16:25 表面含浸工を用いたコンクリートの物性に関する近年の動向
近藤拓也 (高知工業高等専門学校)

16:25～16:30 閉会挨拶

